

☆学びやすい環境を整えて、集中力アップ

～自分の教室環境を振り返ってみませんか～



何に気をつけて、環境を整えればいいのか？



まずは、授業中の子どもたちの目線で、教室を見てみましょう。

どっちが集中しやすい？



自分が勉強している時、ふと、本棚の本など、気になることはありませんか？
どちらが、目の前の教科書に集中が続きますか？



児童生徒によっては、「注意の選択」がうまくいかず、今、見るべき対象に注意を向けるのが苦手なことがあります。

集中して取り組むための刺激（掲示物等）の調整



【黒板周辺の刺激を調整】
黒板周りをすっきりさせることで、黒板に集中！



【移動黒板での情報調節】
必要な時以外は、移動して視線に入れない。授業に集中！！



【掲示物もしっかり止める】
掲示の端がピラ～。気になることも…。止めると気にしない！



ある学級の担任は、子どもが授業中に発表している時、子どもの席に座って聞くことがあるそうです。それは、子どもたちにとって、板書や黒板周りなど、気になる物がないか確認するためだそうです。

また、掲示物だけでなく、音の刺激（校庭、廊下、水槽、話声等）を確認することも大切です。

指示がなくても片付け、整理できる環境



【片付け場所の色分け】

園児たちが、自分のグループの色と同じ色枠の中にイスを片付ける。スムーズな片付けが、活動の時間を増やします！



【写真を使った片付けの見本】

片付けが得意になることで、道具を探す時間がなくなり、活動時間が増えます！



【カゴを使って提出物の整理】

どこに出すかが分かるので、迷わずに提出できます！

どこに片付けるか、提出するか、明確に分かることで、教師の指示がなくても行動できるようになり、その分、授業の内容に集中することができます。



授業に入る前に、自分の教室環境をちょっと振り返って書いてみましょう。

振り返りの観点は二つ！！

○集中できるか？気になるものがないか？

○指示がなくても片付け、整理できる環境か？



校内には、教室環境を整えることが上手な先生がいます。落ち着いて学習できる環境は、学力向上の基盤です。